

KYOTO SHIBORI BIKYO



Photo by 福尾行洋事務所

京鹿の子紋について	… 2
輝染作	
訪問着・帯	… 5
デジタル3D紋	
スカーフ・ストール	… 7~9
a.un	
バッグ	… 11
スカーフ・ストール	… 12~13
ルームシューズ	… 14~15
<monochrome>シリーズ	… 16~20
ポウタイ・ポケットチーフ	… 21
kizomé+	
スカーフ・ストール	… 23~25
カットソー	… 26~27
バッグ	… 28~29
another	
アートテキスタイル	… 31
アートパネル	… 32~33
トレイ	… 34
ライトカバー	… 35
染色工芸作家 輝染	… 36

京鹿の子紋について

《京鹿の子紋とは》

「京鹿の子紋」は、着物や帯などに使われる染色技法の「絞り染め」の技術に属し、1976年に「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」に基づき指定された国の伝統的工芸品です。もともとは、生地を一粒ずつ糸で括（くく）って絞ることで染め分けするもので、その括り模様が小鹿の背にある斑点に似ていることから「かのこ」もしくは「鹿の子絞り」と呼ばれます。

「京鹿の子紋」の名称は、京都（京都市・亀岡市・綴喜郡・相楽郡・船井郡・城陽市・京田辺市）で製造される「絞り」全般を総称したのですが、糸で括って染める疋田絞りなどの「括り」の技法以外に、折りたたんだ生地を型板の間にはさんで留める「板締め」などの染め分けの技法を用いるものについても、京都では「京鹿の子紋」の一種として扱われます。



《板締め絞りとは》

京鹿の子紋の染め分け技法のひとつです。2枚の平らな板の間に生地をはさんできつく縛ったまま染液につけると、はさまれた部分に染液が浸透しないため防染することができます。板締め絞りに用いる板を「型」と呼び、四角い形だけでなく、丸や三角などいろいろありますが、2枚でしっかりはさむ必要があるため、生地をはさむ面は平らになっています。

「板締め絞り」では生地のたたみ方やはさむ位置、板の形などにより、多様な模様を染め分けることができます。板と生地のわずかな隙間に入り込んだ染液がもたらす「ぼかし」が特徴で、それが手作りの味になっています。

伝統工芸士松岡輝一は、この「板締め絞り」の伝統技法から、新たな技法「デジタル3D絞」を生み出しました。

《デジタル3D絞とは》

「デジタル3D絞」は京鹿の子紋伝統工芸士の松岡輝一が開発した技法で、デジタル3D技術を用いて制作した道具（＝型）を使用して、京鹿の子紋の染め分け技法の一つである「板締め絞り」をほどこすものです。従来の板締め絞りに使用する型は、前述のとおり生地をはさむ面が必ず平らになっていましたが、デジタル3D技術を用いて制作した型は生地をはさむ面が平面でなくても、染液に浸けた際にしっかり防染できるのが特徴です。型を3Dプリンターで作りますが、全ての工程は従来の板締め絞りと同様手作業で「ぼかし」が醸し出す手作りの味が楽しめます。さらに、はさまれた部分が凹凸になることで、従来の板締め絞りにはなかった柔らかな風合いが加わります。

「デジタル3D絞」は商標登録済みです。

《伝統工芸士とは》

経済産業大臣が指定する伝統的工芸品の製造に従事する技術者の中から、ある条件を満たした上で、高度の技術・技法を保持する者が伝統工芸士に認定されます。

着物の京友禅や京鹿の子紋は50以上の工程を要するものも多く、一人で全行程をこなすことはありません。松岡輝一 雅号「輝染（きせん）」は京鹿の子紋の染色部門で伝統工芸士に認定されました。



KYOTO  BIKYO 

1937年に染色加工業を始めて以来、当社はきものに携わってきました。

輝染のきもの

染色工芸作家輝染は、代々受け継いできた知識と技術を駆使して、お客様にご満足いただけるきものをお客様と一緒に作り上げたいと考えています。

お客様一人一人の個性を生かすきもの、柄や地色をお選びいただけるセミオーダーの品を取り揃えております。



輝染作

辻乃細道

染色工芸作家で京鹿の子紋伝統工芸士の輝染が手掛けるきものの中の「辻乃細道」シリーズは、ぼかし染めをした生地に縞疋田絞りをほどこし、金彩手描きで辻ヶ花の柄を描いて友禅染めで仕上げた最高級品です。



辻乃細道 訪問着

辻乃細道 帯

KYOTO  BIKYO 

1937年に染色加工業を始めて以来、当社はきものに携わってきました。

デジタル3D 絞®

京鹿の子絞の伝統技法とデジタル3Dの新技术を融合させ、サステナブルな伝統工芸を目指します。




KIZOMÉ

KIZOMÉはこれまで培ってきた京鹿の子絞の技法を活かした京都の洋装ファッション・インテリアのブランドです



50cm×200cm シルク 88%・ポリエステル 12%



デジタル3D 絞 スカーフ <わっふる>
にちりん

手染めならではの「ぼかし」が醸し出す味に加え凹凸による柔らかな風合いが楽しめるスカーフです。

Ambiente 2018 出品


デジタル3D 絞



デジタル3D 紋 ストール <わっふる>
そら

輝染が生み出した「デジタル3D 紋」に加え、伝統技法の「足田絞り」と「縫い締め絞り」をほどこしました。



50cm×190cm ラミー 48%・シルク 42%・ポリエステル 10%



a.un

京鹿の子紋伝統工芸士が伝統的な絞り染め技法を駆使して京都で手染めしたアイテムです。




KIZOMÉ

KIZOMÉはこれまで培ってきた京鹿の子紋の技法を活かした京都の洋装ファッション・インテリアのブランドです



オーバル S

W32cm×H23cm (底 15cm×25cm 楕円形) 綿 100% / 絞り部分はポリエステル 100%



オーバル L

W40cm×H30cm (底 20cm×30cm 楕円形) 綿 100% / 絞り部分はポリエステル 100%



ポーチショルダー

W21cm×H15cm (マチ 5cm) 綿 100% / 絞り部分はポリエステル 100%



a.un バッグ <kakishibu>

柿渋染めの木綿生地に京鹿の子紋伝統技法の一つ「傘巻き絞り」をほどこした生地を組み合わせました。





45cm×180cm シルク 100%

a.un スカーフ
きんぎょ

絞りの周縁が金魚の尾ひれのように見えるデザインです。京鹿の子絞の伝統技法「梅絞り」で手染めしています。

HOMI 2017 出品
Ambiente 2018 出品



疋田絞り
130cm×130cm シルク 100%
100cm×100cm シルク 88%・ポリエステル 12%
50cm×200cm シルク 88%・ポリエステル 12%

筒絞り
100cm×100cm シルク 88%・ポリエステル 12%



a.un スカーフ <musée>
モネ

京鹿の子絞の伝統技法「疋田絞り」又は「筒絞り」で一点一点手染めしています。

モネの作品「睡蓮」をモチーフに手描き染めを加えました。





M サイズ 24.5cm まで / L サイズ 27.0cm まで 鹿革・合成皮革

a.un ルームシューズ <roomshibori>
モロッコ

鹿革に絞り染めをほどこしてルームシューズに仕立てました。一点一点異なる表情をお楽しみください。

Ambiente 2019 出品



M サイズ 24.5cm まで / L サイズ 27.0cm まで 木綿

a.un ルームシューズ <roomshibori>
モロッコ (コットン)

木綿の晒生地に絞り染めをほどこしてルームシューズに仕立てました。





a.un <monochrome>シリーズは男女問わず身に着けていただけるアイテムです



a.un スカーフ <monochrome>

MAGOI

Ambiente 2019 出品



43cm×174cm シルク 100%



a.un バッグ <monochrome>

トートル

W33cm×H36cm×マチ9cm
綿 100% (絞り部分はポリエステル 100%)



a.un バッグ <monochrome>

ショルダー

W29cm×H38cm×マチ10cm
綿 100% (絞り部分はポリエステル 100%)



a.un バッグ <monochrome>

バックパック

W33cm×H38cm×マチ12cm
綿 100% (絞り部分はポリエステル 100%)





a.un スカーフ <monochrome>

FACES

京鹿の子絞の伝統技法のひとつ「疋田絞り」で黒には「髑髏」、紺には「般若」、灰には「能面」、墨には「歌舞伎の隈取り」を形作りました。

45cm×174cm シルク 100%



a.un ストール <monochrome>

FACES

京鹿の子絞の伝統技法のひとつ「疋田絞り」で黒には「髑髏」、紺には「般若」、灰には「能面」、墨には「歌舞伎の隈取り」を形作りました。

50cm×178cm ウール 65%・シルク 28%・ポリエステル 7%





a.un バッグ <monochrome>

W40cm×H32.5cm× マチ 10cm
綿 100% (絞り部分はポリエステル 100%)

Eco トート A

「傘巻き絞り」の生地を薄手の木綿生地のサイドにあしらいました。荷物を入れると絞り部分が伸び取り出すと元に戻ります。



a.un ポウタイ

首回り 45cm まで対応 ポリエステル 100%

ちょう



a.un ネクタイ <monochrome>

ポリエステル 100%



a.un ポウタイ <monochrome>

ポリエステル 100%



a.un ポケットチーフ

こうもり



約 10cm×10cm ポリエステル 100%



kizomé+

KIZOMÉ が国内外のデザイナーやメーカーとコラボレートして生まれたアイテムです。



KIZOMÉ はこれまで培ってきた京鹿の子絞の技法を活かした京都の洋装ファッション・インテリアのブランドです



37cm × 190cm シルク 100%



kizomé+ スカーフ

IRODORI

パリで活躍するテキスタイルデザイナー、リリー&レアとのコラボレーションで生まれた厚手シルクのスカーフです。京鹿の子絞の「板締め絞り」技法により一点一点手染めしています。色の境界線にできる「にじみ」や「かすれ」が「ぼかし」となり、手作りの味を醸し出します。



MAISON & OBJET 2016 出品



45cm × 180cm シルク 100%



kizomé+ スカーフ

UMI

パリで活躍するプロダクトデザイナー、アレクサ
ンドル&ポーリーンのコラボレーションで生まれ
た薄手シルクのスカーフです。京鹿の子紋の「筒絞
り」技法により手染めしています。

「筒絞り」は太い筒に生地を巻き付けて固定し、
一方にギュッと寄せてシワを作って染色・防染する
技法で、シワの上部が濃く染まり、まだらに細い線
状の模様ができます。

MAISON & OBJET 2017 出品



52cm × 170cm 綿 100%



kizomé+ ストール <コラボレーション>

ARIANNA × KIZOMÉ

イタリアの伝統的なストールブランド ARIANNA
と KIZOMÉ がコラボレートしました。ARIANNA の
ストール生地に、京鹿の子紋の伝統技法である「鹿
の子絞り」と「板締め絞り」をほどこしたもので、
伝統的な絞り染めの色柄と、ARIANNA 生地のやわ
らかな肌触りが特徴です。





M サイズ/L サイズ 綿 100% (ポケット部分ポリエステル 100%)



kizomé+ カットソー <コラボレーション>

FAIRFAX × KIZOMÉ

FAIRFAX と KIZOMÉ がコラボレートしました。
FAIRFAX のしっかりした濃紺の無地ボーダー生地
に、京鹿の子絞の伝統技法である「板締め絞り」の
胸ポケットを合わせた個性的なカットソーです。



M サイズ/L サイズ 綿 100% (ポケット部分ポリエステル 100%)



kizomé+ カットソー <コラボレーション>

FAIRFAX × KIZOMÉ

FAIRFAX のしっかりした白の無地ボーダー生地
に京鹿の子絞の伝統技法「傘巻き絞り」の胸ポケッ
トを合わせました。





W33cm×H35cm 表地絹 100%・裏地綿 100%



kizomé+ バッグ＜コラボレーション＞

室町呉袋 × KIZOMÉ トート

反物を利用したトートバッグを展開して多くの方に愛されている室町呉袋と KIZOMÉ がコラボしました。「疋田紋」の飛び柄・市松柄、「板締め紋」の3タイプ、ポップなカラーで洋装・和装のどちらにも合います。

持ち手に丈夫な真田紐を使用しているので伸びにくく、安心してお使いいただけます。



W16cm×H23cm 表地絹 100%・裏地綿 100%



kizomé+ バッグ＜コラボレーション＞

室町呉袋 × KIZOMÉ ミニトート

室町呉袋と KIZOMÉ のコラボバッグです。ミニトートはバッグ・イン・バッグとして携帯電話や財布など小物をまとめるのに適したサイズです。

持ち手にはおしゃれな真田紐を使用しています。



another

京鹿の子紋は日々の生活にとけ込んでお洒落な空間を演出します。



Photo by PRECIOUS KYOTO



KIZOMÉ

KIZOMÉはこれまで培ってきた京鹿の子紋の技法を活かした京都の洋装ファッション・インテリアのブランドです



188cm×90cm シルク 100%

SHIBORI-Art textile 雲海

京鹿の子紋の「疋田絞り」「帽子絞り」技法を用いてぼかし染めをほどこしました。絞りの立体感とぼかし染めによるオーガンジーの透明感が特徴的なアートテキスタイルです。

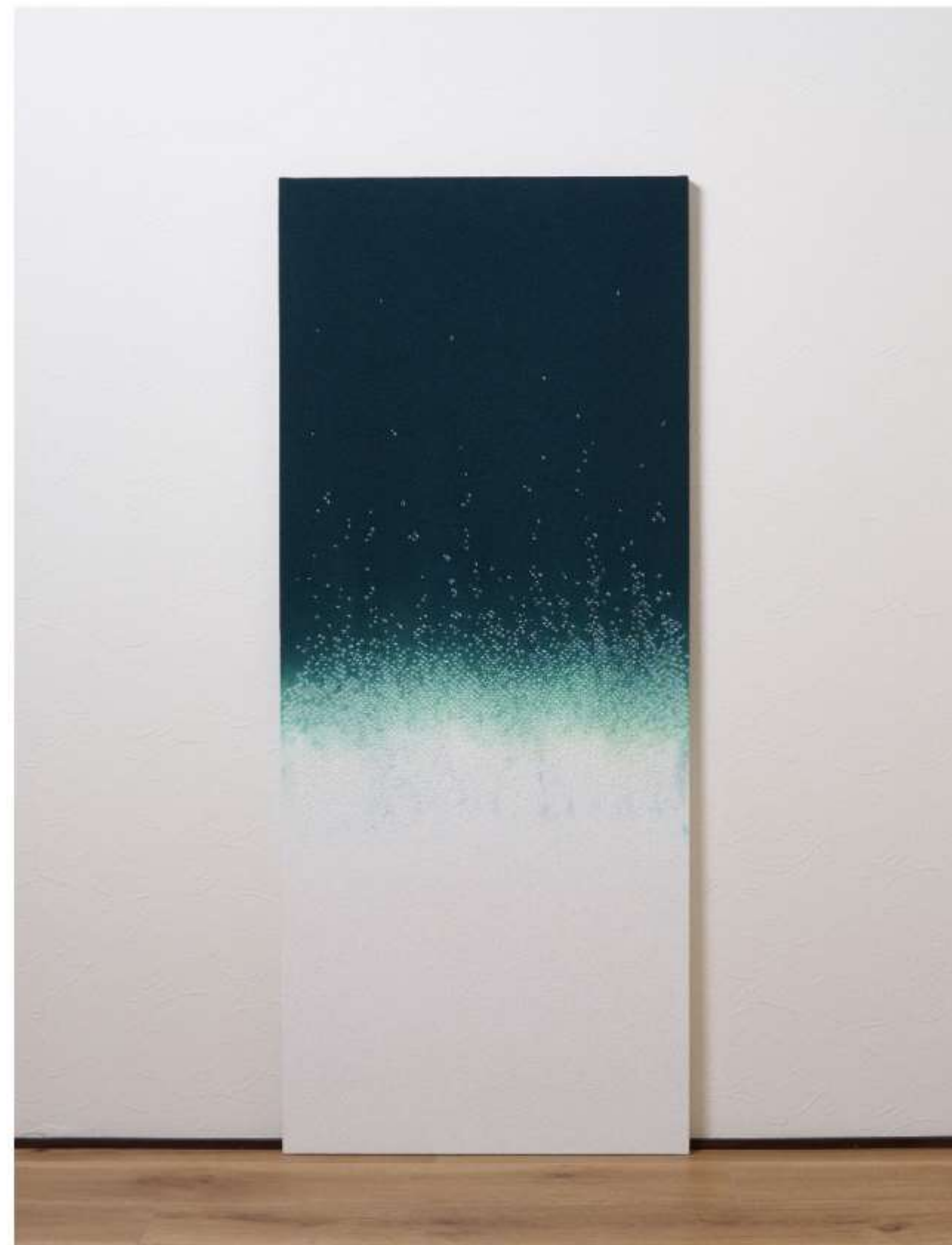


120cm×50cm×厚さ2cm シルク100%／合板

SHIBORI-Art panel 深海

着物に使用する生地をアートパネル用に別織りして京鹿の子絞の「足田絞り」技法をほどこし、深い海を思わせるような色でぼかし染めをしています。全く同じものができないアート作品です。

2021 年度全国伝統的工芸品公募展入選
MAISON & OBJET 2022 出品



120cm×50cm×厚さ2cm シルク100%／合板

SHIBORI-Art panel 深緑

着物に使用する生地をアートパネル用に別織りして京鹿の子絞の「足田絞り」技法をほどこし、深い森を思わせるような色でぼかし染めをしています。全く同じものができないアート作品です。

MAISON & OBJET 2022 出品



S: 140 mm × 140 mm / M: 200 mm × 180 mm / L: 315 mm × 210 mm シルク 100%/他



SHIBORI-Tray set

京鹿の子紋特有の柄を絞り染めた着物生地をトレイに仕上げました。ホックをとめることにより立体を形作ります。

撥水・防汚のガード加工をほどこしているのでお手入れが楽です。



MAISON & OBJET 2022 出品



生地サイズ 36cm×48cm ポリエステル 100%



SHIBORI-Lighting cover チュパ

京都の伝統工芸、京鹿の子紋の「傘巻き絞り」技法をほどこしたライトカバーです。絞りの特徴である突起部分が光を包んで柔らかく放ちます。

写真は口径 12cm、高さ 23cm のランプシェードに対応したのですが、大きさ・色はカスタマイズできます。

染色工芸作家 輝染（きせん）

染色工芸作家 松仙（しょうせん）に師事し染色を学ぶ

2006年 訪問着「流れ」が第29回日本染織作家展入選

2010年 訪問着「悟りの窓」が第33回日本染織作家展入選

2012年 訪問着「格子のムコウに」が第35回日本染織作家展入選

2013年 訪問着「薫風・華のメロディー」が第36回日本染織作家展入選

2014年 京鹿の子絞（染色部門）伝統工芸士に認定
訪問着「富士映えりて」が第37回日本染織作家展入選

訪問着「松尽くし」がSNBA2014 Carrousel du Louvre で審査員賞受賞

2015年 訪問着「RINPA」が第38回日本染織作家展入選

2016年 京都文化ベンチャーコンペティションで京都経済界賞受賞

(株)京都絞美京を設立し代表取締役役に就任

2017年 京都文化ベンチャーコンペティションで京都府知事賞優秀賞受賞

京都市伝統産業「未来の名匠」に認定

2018年 デジタル3D絞スカーフ「くわっふる」がアンビエンテ見本市で Ambiente trends 2018 に選定

訪問着「辻乃細道」が第41回日本染織作家展入選

2020年 絞りアートパネル「海中から見上げた空」が全国伝統的工芸品公募展入選

2021年 絞りアートパネル「深海」が全国伝統的工芸品公募展入選



株式会社 京都絞美京

〒604-8863 京都市中京区壬生中川町 2-3

1937年 京都で染色加工業開始

1959年 京鹿の子絞加工開始

1975年 京呉服の製造販売開始

1978年 (株)京都美京設立

2016年 (株)京都絞美京設立

2019年10月 京都府経営革新計画承認

2020年5月 京都府元気印中小企業に認定



KIZOMÉ